



支部だより

第 74 号

編集・発行
〒464-0039
名古屋市千種区日和町2-18
名古屋地方気象台内
日本気象学会中部支部
電話 052-751-5124
2012.11.02

目次

- ・ 2012 年度（平成 24 年度）中部支部総会の報告 1
- ・ 中部支部第 20 期役員選挙結果の報告 2
- ・ 第 17 回公開気象講座の報告 2
- ・ 平成 24 年度気象学会中部支部研究会のお知らせとプログラム 3

◆ 2012 年度（平成 24 年度）中部支部総会の報告

2012 年度日本気象学会中部支部総会が 7 月 24 日（金）、16 時 00 分から名古屋地方気象台会議室において開催されました。開会の辞、および神田 豊支部長の挨拶のあと、名古屋地方気象台の川端 昇会員を議長に選出し、議事進行をお願いしました。

中部支部会員のうち議決権を有する通常会員は 93 名です。支部規約による総会成立条件によると、委任状提出を含め通常会員数の過半数（47 名以上）の出席が必要です。奥幹事から、総会参加ハガキによる委任状提出者数が 54 名（ただし、総会参加者で委任状を提出した通常会員数を除く）、通常会員の出席者が 10 名であり、過半数に達しているとの報告があり、総会の成立が確認されました。

その後、支部だより第 73 号に掲載された議案(1)～(5)について審議されました。

(1) 2011 年度（平成 23 年度）事業報告

永尾幹事から、支部だより（第 72 号）発行、秋季全国大会の開催とその準備の実行委員会の開催、サイエンスカフェの開催について報告があり承認されました。

(2) 2011 年度（平成 23 年度）中部支部会計報告

奥幹事から 2011 年度の会計報告があり、承認されました。

(3) 2011 年度（平成 23 年度）中部支部会計監査報告

多々良会計監査から 2011 年度の支部会計が適正に処理されている旨の報告があり、承認されました。

(4) 2012 年度（平成 24 年度）中部支部事業計画案

永尾幹事から下記の事業計画案が提案され、承認されました。

- ・ 支部だより（第 73 号、第 74 号）の発行
- ・ 第 17 回公開気象講座「大気中の微粒子(エアロゾル)が気候に及ぼす影響」(8 月 31 日、名古屋大学 ES 総合館 ES ホール) の開催
- ・ 第 17 回支部研究会（11 月 13 日～14 日、愛知教育大学）の開催
- ・ サイエンスカフェ（2 回）の開催

(5) 2012年度（平成24年度）中部支部予算案

奥幹事から今年度の事業計画に基づいた予算案が提案され、承認されました。
このあと、奥幹事から、中部支部の資産目録の報告があり、ノートパソコン2台、プリンター1台の報告があり、承認されました。

◆中部支部第20期役員選挙結果の報告

第19期役員の任期が2012年6月30日で満了となるため、第20期の支部役員選挙の開票が6月25日に奥清治会員の立会いのもと、選挙管理委員会（川端昇委員長、由比栄造委員、岡田京委員）により行われました。開票結果は以下のとおりです。なお、第20期役員の任期は2012年7月1日から2014年6月30日までの2年間です。

1. 理事

東海地区（愛知県、岐阜県、三重県）

当選	45票	甲斐 憲次	名古屋大学
当選	46票	神田 豊	名古屋地方気象台
当選	46票	小林 俊彦	岐阜地方気象台
当選	46票	立花 義裕	三重大学
当選	46票	坪木 和久	名古屋大学
当選	45票	藤田由紀夫	名古屋地方気象台

北陸地区（富山県、石川県、福井県）

当選	45票	木平 泰浩	金沢地方気象台
----	-----	-------	---------

長野・静岡地区（長野県、静岡県）

当選	45票	高橋 俊二	長野地方気象台
----	-----	-------	---------

2. 会計監査

当選	46票	多々良秀世	日本気象協会中部支社
----	-----	-------	------------

◆第17回公開気象講座の報告

日本気象学会中部支部主催の公開気象講座は、気象学に関する専門的かつ最新の知識を一般の方々に分かりやすく解説することを目的に開催されるもので、今年で17回目を数えます。今回は、「大気中の微粒子(エアロゾル)が気候に及ぼす影響」というテーマで8月31日（金）に名古屋大学 ES 総合館 ES ホールにおいて開催されました。神田 豊支部長の挨拶の後、名古屋大学大学院環境学研究科の持田陸宏氏により「大気微粒子（エアロゾル粒子）の計測から探るその気候とのつながり」というタイトルで、目に見えない大気微粒子のエアロゾル1つ1つの物理化学特性の測定および雲凝結核としてのほたらきについて分かりやすく説明していただきました。次いで、東京大学大気海洋研究所の中島映至氏により「地球気候系における大気微粒子の役割」というタイトルで、エアロゾルが気候、特に地球大気の放射過程にどのような働きをしているかについて人工衛星データなどを用いて分かりやすく説明していただきました。休憩をはさんで最後に、九州大学応用力学研究の竹村俊彦氏に「大気微粒子による気候変動と大気汚染の予測」というタイトルで、数値モデル計算による越境大気汚染を含めた大気汚染の実態把握と日々の予測、および将来のエアロゾル放出変化によ

る気候への影響について分かりやすく説明していただきました。参加者は68名で、各講演には多くの質問があり、関心の強さを感じました。

◆ 平成24年度日本気象学会中部支部研究会のお知らせとプログラム

今年度の中部支部研究会は11月13日(火)～14日(水)の2日間にわたり、愛知県刈谷市の愛知教育大学内において開催する予定です。既に申し込みは締め切られておりますが、今回の発表件数は20件で、長期、短期の気象データ(風、降水、温度など)に関する研究やエアロゾルや大気微量成分などの大気化学的な研究などの講演が予定されています。会員の皆様には、同封した講演要旨集に詳細が記載されていますが、この支部だよりも研究会のプログラムを以下に記載しました。ご興味のある方は是非、会場にお越しください。

◇ 平成24年度支部研究会概要

日時：2012年11月13日(火曜日) 13:30～18:00(終了後、別会場で懇親会)

11月14日(水曜日) 09:00～12:00

場所：愛知教育大学自然科学棟(538号室)(愛知県刈谷市井ヶ谷町広沢1)

交通案内(周辺地図は支部だよりの最後にあります)：

会場となる愛知教育大学自然科学棟への交通は、以下の通りです。

- ・名鉄名古屋本線知立駅下車。名鉄バス1番乗り場 愛知教育大前下車(所要時間約20分)
- ・名鉄豊田線日進駅下車。名鉄バス1番乗り場 愛知教育大前下車(所要時間約25分)
- ・JR東海道線刈谷駅下車。愛知教育大前行きバス(所要時間約35分)

あるいは、愛知教育大学の交通案内 <http://www.aichi-edu.ac.jp/access/>をご覧ください。

◇ 支部研究会のプログラム

11月13日(火)

●13:30～13:40 開会の辞 神田 豊(中部支部長/名古屋地方気象台)

(1) 13:40～14:00 *梅川紗綾(名古屋大学大学院環境学研究科)、中村健治、秋元(古澤)文江、西川将典(名古屋大学地球水循環研究センター)

「沖縄域における乾燥大気の貫入現象」

(2) 14:00～14:20 *安藤文香、飯田潤士、吉野純、安田孝志(岐阜大学大学院工学研究科)

「画像変形解析による短時間降雨域予測手法の開発と精度検証」

(3) 14:20～14:40 *庄 建治朗(名古屋工業大学都市社会工学科)、谷口 健司(金沢大学理工研究域)

「10分雨量データを用いた名古屋における大雨事例の雨域解析」

(4) 14:40～15:00 *西 正(三重大学生物資源学部)、千田 眞喜子(京都光華女子大学・大阪成蹊短期大学)、葛葉 泰久(三重大学大学院生物資源学研究科)

「三重大学の降水中に含まれるイオン濃度の月変化に関する研究」

(5) 15:00～15:20 *濱崎 翼、清澤 秀樹(三重大学大学院生物資源学研究科)

「地表面温度の時間変化を用いた広域の地中伝熱量の推定」

○15:20～15:30 休憩

(6) 15:30～15:50 *草刈 智一（元信州大学大学院）、寒川典昭・中屋眞司（信州大学工学部）、浜口俊雄（京都大学防災研究所）、山崎基弘（前信州大学工学部）

「移動部分標本を用いた非定常水文頻度分析における標本長さの評価」

(7) 15:50～16:10 中塚 武（名古屋大学大学院環境学研究科）

「中部日本における樹木年輪セルロースの酸素同位体比を用いた過去2千年間の水循環の年々変動の復元—その気候学的・歴史学的意味の解明に向けて—」

(8) 16:10～16:30 *古田仁康、立花義裕（三重大学生物資源学部）

「成層圏突然昇温が日本の降雪に与える影響について」

(9) 16:30～16:50 *菊本雄紀、神慶孝、甲斐憲次、柴田隆、長田和雄、永尾一平（名古屋大学大学院環境学研究科）

「名古屋港で観測された局地風の鉛直構造について —2012年7月14日～15日のフィールドセミナー—」

(10) 16:50～17:10 *越山大貴、榊原保志（信州大学大学院教育学研究科）

「長野市浅川地域における山風の吹送過程及びその冷却効果」

(11) 17:10～17:30 *亀村光、大村文美、轡田邦夫（東海大学海洋学部）、亀田傑（東海大学大学院地球環境科学研究科）

「篤志観測船データを用いた海上風の長期変動の解析」

(12) 17:30～17:50 *亀田 傑（東海大学大学院地球環境科学研究科）、轡田 邦夫（東海大学海洋学部）

「全球海上風データセットを使用した10年スケール変動の解析」

●17:50～18:00 第1日目の発表に関する講評 甲斐憲次（中部支部理事/名古屋大学）

●18:15～20:00 懇親会（会場：愛知教育大学構内ユースピア）

11月14日（水）

(13) 09:00～09:20 *永尾一平（名古屋大学大学院環境学研究科）、齋藤伸治（東京都環境科学研究所）

「名古屋の都市大気における芳香族炭化水素濃度の日変化」

(14) 09:20～09:40 奥 清治（名古屋地方气象台）

「GPS観測データによる「平成20年8月末豪雨」の解析」

(15) 09:40～10:00 *平松 章男（日本気象予報士会北陸支部／北陸先端科学技術大学院大学知識科学研究科）、HUYNH Van Nam（北陸先端科学技術大学院大学知識科学研究科）、中森 義輝（北陸先端科学技術大学院大学知識科学研究科）

「意思決定者のリスク選好態度を考慮した確率予報の活用について」

(16) 10:00～10:20 吉田信夫（多治見の気温をはかる会）

「多治見の夏の暑さと降雨の関係」

○10:20～10:30 休憩

(17) 10:30～10:50 *五味 千絵子, 葛葉 泰久 (三重大学大学院生物資源学研究所)
「降水量の非線形科学的モデル化手法について」

(18) 10:50～11:10 *鈴木直美, 五十嵐結香, 大野更紗 (三重県立津高等学校2年生), 橋谷耕司, 奥田光升 (三重県立津高等学校), 安藤雄太, 藤田啓, 吉岡七緒, 立花義裕 (三重大学大学院生物資源学研究所)

「ラジオゾンデ観測による夏季の津市上空の大気構造」

(19) 11:10～11:30 *大野更紗(三重県立津高等学校2年生)、立花義裕、Alima Diawara、大鹿美希、大富裕里子、緒方香都(三重大学大学院生物資源学研究所)、奥田光升、橋谷耕司(三重県立津高等学校)

「北極振動指数の近年における異常値の増加傾向について」

(20) 11:30～11:50 *五十嵐結香(三重県立津高等学校2年生)、奥田光升、橋谷耕司(三重県立津高等学校)、小松謙介、坂田晴香、西川はつみ、立花義裕(三重大学大学院生物資源学研究所)

「竜巻は天気図から予測できるのか！？～パターン相関法による予測性の検証」

●11:50～12:00 第2日目の発表に関する講評 立花義裕(中部支部理事/三重大学)

●閉会の辞

複数の著者による発表では、著者名に*印が付けられた方が発表される予定です。今回の支部研究会では、講演1件あたりの時間は20分を予定しております。各講演者の方は講演時間15分、質疑時間5分を目安とした講演をお願いいたします。

支部研究会についてのお問合せ先

〒464-8601 名古屋市千種区不老町

名古屋大学大学院環境学研究所

永尾一平

i.nagao@nagoya-u.jp

電話：052-789-3483

会場案内図（愛知教育大学）

